



なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館のホームページでダウンロードすることができます。

アフリカゾウ(サバンナゾウ)の巨大な骨格から学ぶこと...

周南市徳山動物園のサバンナゾウ「マリー」が2012年2月に死んでから約1年と9ヶ月。多くの県民に親しまれた「マリー」は、こうして骨格標本として、これからも私たちの前で勇姿を見せてくれることになりました。(11/21)



体高は約2.5m、体重は約3.5トン。サバンナゾウとしては小さい方なので、長年「マルミミゾウ」と思われていました。



アフリカゾウには大型の「サバンナゾウ」と小型の「マルミミゾウ」がいます。



「マリー」の骨格は、肉などを取り除いた後、土に埋められていました。骨を傷つけないように、最後は手で土を取り除き、大切に取り出します。

頭蓋骨です。牙は、取り出すと離れてしまいました。



巨大な頭蓋骨なので5人がかりで、そっと取り出します。



これが、サバンナゾウ「マリー」の全身骨格です。人間の大きさと比べるとその巨大さがよくわかります。山口大学獣医学科の学生たちの手伝いにより掘り出され、これから山口大学で調査研究された後、来年の春には山口博物館で展示される予定です。



巨大な臼(きゅう)歯。虫歯はなく健康そのもの。うらやましい?



これは、博物館に展示中の宇部市沖海底で見つかったゾウ(ステゴドン)の歯の化石です。確かにゾウの歯に見えますね。



こちらは、この9月から公開されているスリランカゾウ(アジアゾウ)です。2頭いて、ミリンダ(オス)とナマリー(メス)という名前です。